

株式会社 **イチケン**

証券コード: 1847



## 第**93**期 中間株主通信

平成30年4月1日～平成30年9月30日

東急スポーツオアシス  
習志野24Plus



トラストネクサス速玉  
パークレジデンス



コープこと新下関店



### 《経営理念》

品質の向上と  
安全の徹底に努め、  
いかなるときも  
クリエイティビティを發揮し、  
商業空間事業を通じ、  
快適で豊かな社会の  
実現をめざします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第93期中間期における営業のご報告にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

私どもは、『品質の向上と安全の徹底に努め、いかなるときもクリエイティビティを發揮し、商業空間事業を通じ、快適で豊かな社会の実現をめざします』という経営理念のもと、皆様の日々の営みに「より豊かで快適な暮らし空間」をご提案させていただくことを通じて企業価値を高めてまいりたいと考えております。

建設業界は、東京オリンピック・パラリンピック関連事業や企業収益の改善等を背景に首都圏を中心とした公共投資や民間設備投資が堅調に推移しているものの、建設資材の価格上昇や建設業就業者不足に伴う労務費の高騰が懸念材料となっております。

こうした状況のもと、当社は中期経営計画に掲げた目標数値を達成すべく、「技術提案力の強化」、「採算性と生産性を重視した取り組みの強化」、「不動産事業の活性化」、「新規事業への取り組み」、「マネジメント力の向上」の5つの重点施策の実現に積極的に取り組んでまいりました。

当中間期におきましては、不動産事業の活性化の一環として、ビジネスホテル用不動産を収益物件として新たに取得したことに加えて、当社保有商業施設の集客力向上を図るためにリニューアル工事を実施いたしました。また、本年11月には、新規事業への取り組みの一環としてハノイ（ベトナム）事務所を開設するとともに、現地法人との協力関係を構築するなど、海外への事業展開の第一歩を踏み出しました。

当中間期の業績は、売上高は前中間期に比べ増加したものの、利益面では売上総利益が減少したことなどから、前中間期を下回る結果となりました。

当社を取り巻く経営環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、株主の皆様のご期待に応えるべく、社員一同一丸となってさらに努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長 長谷川 博之

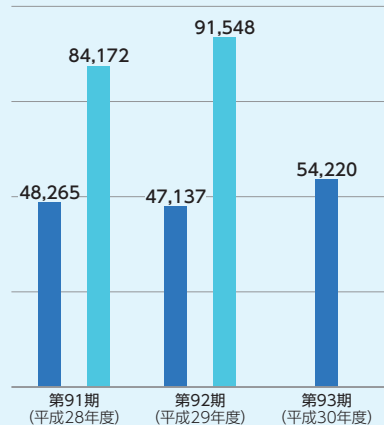
# 主な経営指標の推移

## FINANCIAL HIGHLIGHTS

■ 中間期 ■ 通期

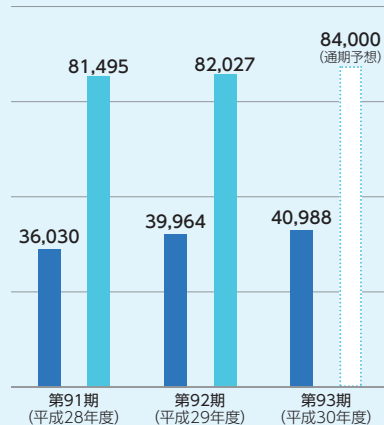
### 受注高

(単位: 百万円)



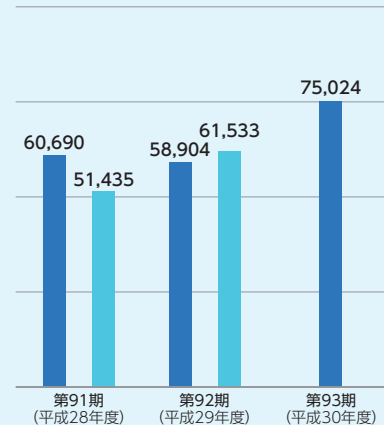
### 売上高

(単位: 百万円)



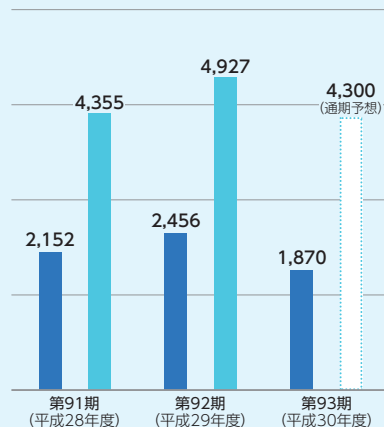
### 手持工事高

(単位: 百万円)



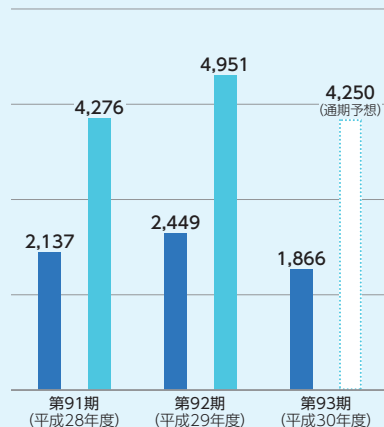
### 営業利益

(単位: 百万円)



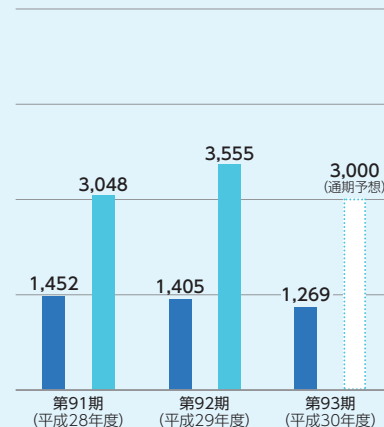
### 経常利益

(単位: 百万円)



### 四半期(当期)純利益

(単位: 百万円)



# 商業施設の建築及び内改装工事をはじめ、 ホテル・マンション・教育関連施設・医療介護施設・官公庁等の 建設工事の受注活動にも幅広く取り組んでまいりました

## ■ 当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、全国各地に災害をもたらした大型台風や豪雨、地震災害などの影響や、米中の保護主義的な通商政策に基づく貿易摩擦による世界経済の下振れリスク、アジア・中東情勢の地政学リスクなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連事業や企業収益の改善等を背景に、首都圏を中心とした公共投資や民間設備投資が堅調に推移しているものの、建設資材の価格上昇が鮮明になってきております。また建設業就業者の減少から、処遇改善だけでなく働き方改革により次世代の担い手育成や生産性向上を目指した取り組みが足元の課題となっており、依然として予断を許さない経営環境が続いています。

このような状況のもと、当社は受注拡大のため、従前から培ってきたコア事業である「商業施設」建築のノウハウや企画・提案力を生かし、店舗等の新築・内改装工事のほか訪日観光客の増加に伴うホテルの建設需要に対して積極的な受注活動を行ってまいりま

した。また、マンション建設、教育関連施設の建設、老年人口の増加による医療・介護施設の建設等、幅広い民間事業者の需要に加え、官公庁への受注活動にも取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の業績につきましては、売上高は409億8千8百万円(前年同期比2.6%増)となりました。損益につきましては、完成工事高は増加しましたが、完成工事総利益が減少したことなどから、営業利益は18億7千万円(前年同期比23.8%減)、経常利益は18億6千6百万円(前年同期比23.8%減)、四半期純利益は12億6千9百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

また、受注高は542億2千万円(前年同期比15.0%増)となりました。これに伴い、当中間期末の手持工事高は750億2千4百万円(前年同期比27.4%増)となりました。

## ■ 通期の見通し

通期の業績につきましては、売上高は前期を上回る840億円(前期比2.4%増)を予想しております。また、営業利益は43億円(前期比12.7%減)、経常利益は42億5千万円(前期比14.2%減)、当期純利益は30億円(前期比15.6%減)と予想しております。

## ■ 株主の皆様へ

当社は、第94期を最終年度とする中期経営計画に掲げた目標数値を達成するため、「技術提案力の強化」、「採算性と生産性を重視した取り組みの強化」、「不動産事業の活性化」、「新規事業への取り組み」、「マネジメント力の向上」の5つの重点施策を掲げ、これらの実現に取り組んでおります。

当中間期におきまして「不動産事業の活性化」の一環として、当社施工物件である“ホテル・アンドルームス新大阪”を新たに取得し、本年10月1日に開業いたしました。また、当社所有の商業施設である“赤とんぼ広場ショッピングセンター”において、当社のコア事業である商業施設建築のノウハウを随所に生

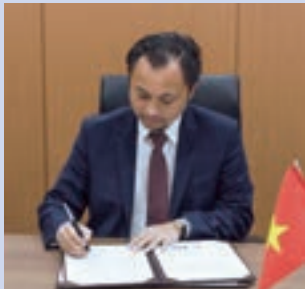
かした内改装工事を実施し、本年10月17日にリニューアルオープンいたしました。

さらに「新規事業への取り組み」の一環として、本年11月15日付でベトナムにハノイ事務所を開設するとともに、将来におけるベトナム国内での営業活動の展開を視野にベトナム現地法人と協力関係を構築いたしました。今後も本格的な事業化に向けて着実に歩みを進めてまいり所存であります。

今後も株主の皆様のご期待と信頼に応えられるよう邁進してまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ベトナム現地法人との協力関係樹立

当社は、ベトナムの現地法人「AZB JOINT STOCK COMPANY」社と、今後のベトナム国内における受注の促進や施工体制の構築及び施工能力の向上に向け、協力関係を構築することに合意し、本年11月19日に当社本社にて『協力関係構築に関する覚書』の調印式を執り行いました。



署名するAZB社ニオン社長



左からドン会長、ニオン社長(AZB)  
長谷川社長、奥田所長(イチケン)



署名する長谷川社長

# 財務情報(要約)

## 貸借対照表

(単位:百万円)

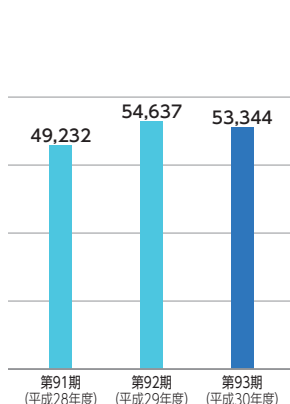
科 目	当中間期	前 期
	平成30年9月30日現在	平成30年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	48,130	50,338
固定資産	5,214	4,299
有形固定資産	2,091	1,012
無形固定資産	183	204
投資その他の資産	2,939	3,082
<b>資産合計</b> <b>ポイント①</b>	<b>53,344</b>	<b>54,637</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	32,096	33,859
固定負債	3,299	3,512
<b>負債合計</b> <b>ポイント②</b>	<b>35,396</b>	<b>37,371</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	17,377	16,687
資本金	4,321	4,321
資本剰余金	206	206
利益剰余金	12,873	12,183
自己株式	△24	△24
評価・換算差額等	532	540
新株予約権	38	38
<b>純資産合計</b> <b>ポイント③</b>	<b>17,948</b>	<b>17,266</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>53,344</b>	<b>54,637</b>

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

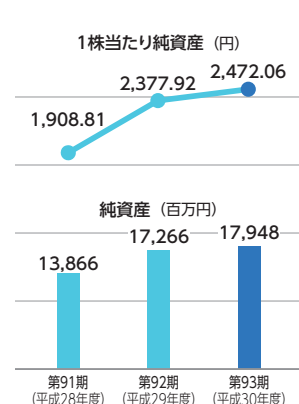
■ 中間期 ■ 通期

## 総資産

(単位:百万円)



## 純資産/1株当たり純資産



※ 第91期につきましては、期首に株式併合(5株を1株に併合)が行われたと仮定し、1株当たりの純資産の額を記載しております。

### ポイント① 資産合計

資産合計は前期に比べ12億9千3百万円減少し、533億4千4百万円となりました。主な内容は、受取手形・完成工事未収入金が43億6千2百万円増加した一方、現金預金が92億1千8百万円減少したことであります。

### ポイント② 負債合計

負債合計は前期に比べ19億7千5百万円減少し、353億9千6百万円となりました。主な内容は、支払手形・工事未払金が5億1千4百万円減少したことであります。

### ポイント③ 純資産合計

純資産合計は前期に比べ6億8千1百万円増加し、179億4千8百万円となりました。主な内容は、利益剰余金が前期に係る期末配当により5億7千9百万円減少したものの、当中間期で四半期純利益を12億6千9百万円獲得したため、6億8千9百万円増加したことであります。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日
売上高	40,988	39,964
売上原価	37,880	36,349
売上総利益	3,108	3,614
販売費及び一般管理費	1,237	1,158
営業利益 <b>ポイント④</b>	1,870	2,456
営業外収益	23	22
営業外費用	27	28
経常利益 <b>ポイント⑤</b>	1,866	2,449
特別損失	—	323
税引前四半期純利益	1,866	2,126
法人税、住民税及び事業税	475	573
法人税等調整額	122	146
四半期純利益	1,269	1,405

## キャッシュ・フロー計算書

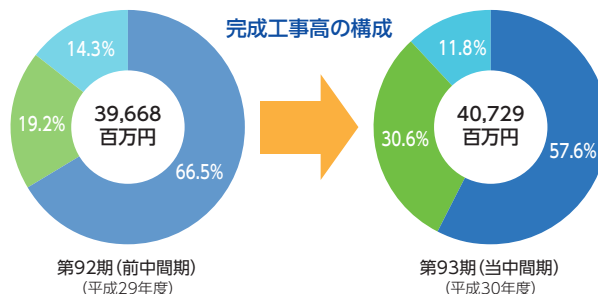
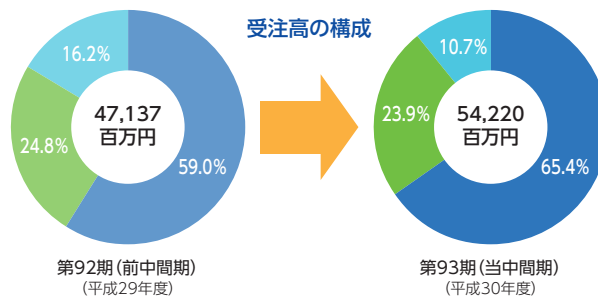
(単位:百万円)

表示区分	当中間期	前中間期
	自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,553	5,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,084	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△580	△329
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	△9,218	5,412
現金及び現金同等物の期首残高	21,593	9,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,375	14,471

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 建設事業の概況

■ 商業施設 ■ 住宅 ■ その他

**ポイント④** 営業利益

完成工事高は増加したものの、完成工事総利益が減少したため、営業利益は前年同期比23.8%減の18億7千万円となりました。

**ポイント⑤** 経常利益

完成工事総利益の減少に伴う営業利益の減少により、前年同期比23.8%減の18億6千6百万円となりました。

イチケンが創造する豊かで快適な『暮らし空間』。その一部をご紹介します。



商業施設

コープことと新下関店  
(山口県下関市)

竣工 平成30年4月

構造 S造 1階建

延床面積 3,041㎡



商業施設

ミ・ナーラ(改装工事)  
(奈良県奈良市)

竣工 平成30年4月

構造 RC造 7階建

施工面積 23,000㎡



スポーツ施設

東急スポーツオアシス  
習志野24Plus  
(千葉県習志野市)

竣工 平成30年7月

構造 S造 3階建

延床面積 4,183㎡



マンション

サングレート平尾山荘  
(福岡県福岡市)

竣工 平成30年8月

構造 RC造 6階建

延床面積 2,383㎡



NEWS

## 「ハノイ事務所」の開設 ～新規事業への取り組み～

「中期経営計画」の重点施策である「新規事業への取り組み」の1つとして、平成30年11月15日にハノイに事務所を開業いたしました。ベトナムは、当社得意先が積極的に進出している東南アジアの一国であり、経済発展が著しく、政治・経済的にも安定していることから海外進出国に選定いたしました。

■所在地 Room 802, Laboratory Building, National University of Civil Engineering, No.55 Giai Phong Str., Hanoi



NEWS

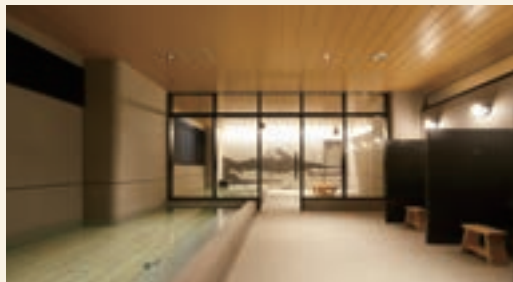
## 「ホテル・アンドルームス新大阪」 ～不動産事業の活性化～

「中期経営計画」の重点施策である「不動産事業の活性化」の初弾事業として、新規収益物件である「ホテル・アンドルームス新大阪」を施工・取得いたしました。本ホテルは、大阪の玄関口である「新大阪駅」にほど近く、リニア新幹線開通等による更なる利便性の高まりや、ラグビーワールドカップの開催などにより、ビジネス客から訪日外国人旅行者まで、幅広い層からの宿泊需要が見込まれます。

■所在地 大阪市淀川区西宮原一丁目4番28号

■連絡先 06-4807-5111

■アクセス 「新大阪駅」4番出口より徒歩6分



NEW OPEN!!



### 概要

開業日 平成30年10月1日

客室数 120室(9階建)

(平成30年9月30日現在)

## 会社概要

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億2,167万2,065円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	630名
取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行 東日本銀行 他

## 役員

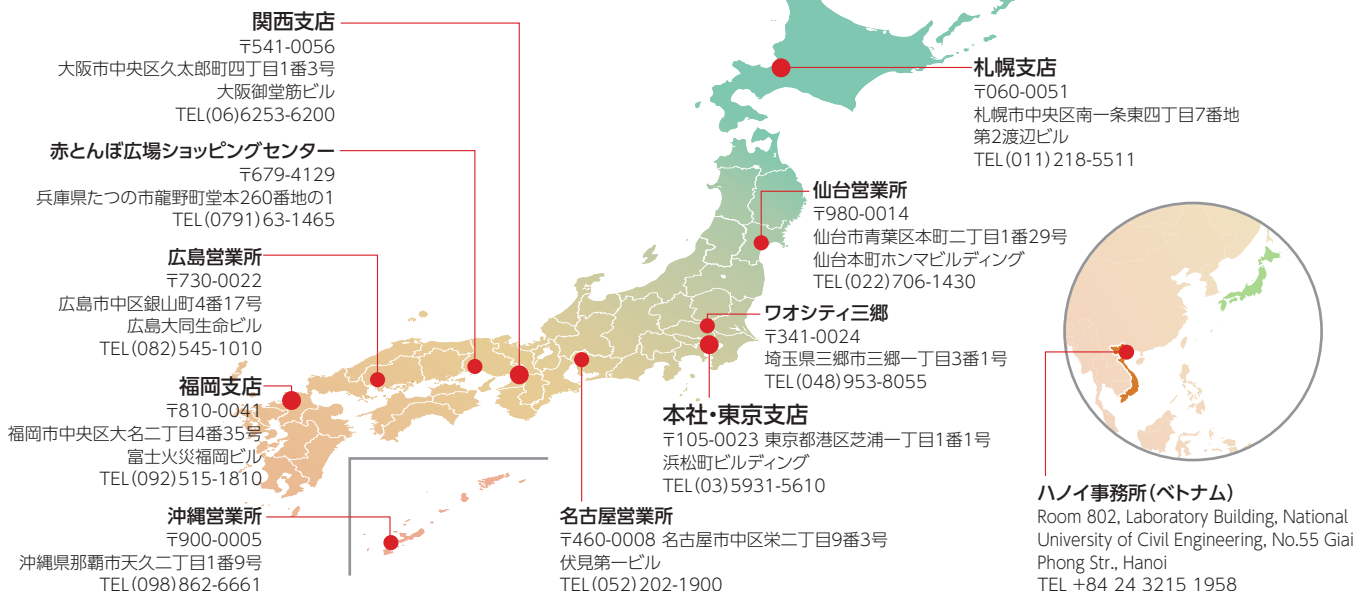
### 取締役および監査役

代表取締役社長	長谷川 博之	取締役(社外)	伊知地 俊人
取締役	古川 仁一	常勤監査役	渡辺 直之
取締役	吉田 稔	監査役(社外)	西村 正明
取締役	西出 英雄	監査役(社外)	吉識 至孝
取締役(社外)	藤田 進	監査役(社外)	小川 真人
取締役(社外)	武内 秀明		

### 執行役員

社長執行役員	長谷川 博之	執行役員	野崎 晃
専務執行役員	古川 仁一	執行役員	磯野 慶治
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	濱野 明
常務執行役員	西出 英雄	執行役員	奥田 育久
常務執行役員	佐々 英昭	執行役員	田中 実
常務執行役員	湯ノ口 智治	執行役員	中村 晃

## 事業所一覧



(平成30年9月30日現在)

## 株式の状況

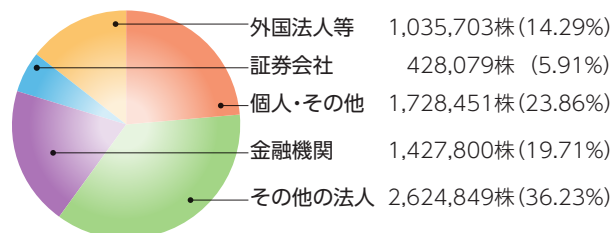
発行可能株式総数	22,240,000株
発行済株式の総数 (自己株式23,518株を含む)	7,268,400株
株主数	3,110名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	2,342,800	32.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	414,000	5.71
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	239,862	3.31
株式会社 三井住友銀行	199,200	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	165,700	2.28
全国一栄会持株会	158,400	2.18
立花証券株式会社	141,000	1.94
上田八木短資株式会社	121,700	1.67
株式会社 三菱UFJ銀行	118,400	1.63
BBH LUX/DAIWA SBI LUX FUNDS SICAV - DSBI JAPAN EQUITY SMALL CAP ABSOLUTE VALUE	115,300	1.59

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。  
 2. 持株比率は、各株主の持株数の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。  
 3. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

## 所有者別株式分布の状況



(注) 自己株式を除外した比率を記載しております。

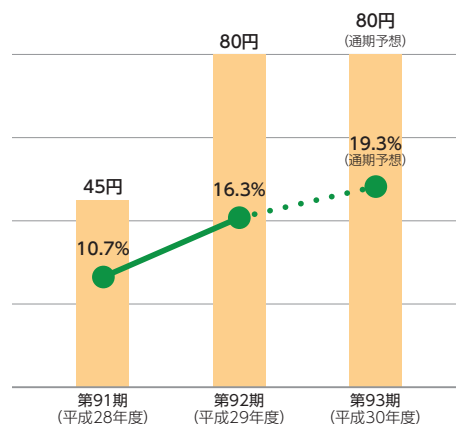
## ● 株主還元の様況

第93期(平成30年度)の1株当たりの期末配当予想は80円とさせていただきます。

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

第93期の期末配当につきましては、当該基本方針に基づき、1株当たりの期末配当予想を80円といたしました。

## 1株当たり配当金と配当性向の推移



## 当社ホームページのご案内

<http://www.ichiken.co.jp>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 配当金受領株主確定日 毎年3月31日 なお中間配当を実施する場合の株主確定日は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) <a href="http://www.ichiken.co.jp">http://www.ichiken.co.jp</a> 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

### お知らせ

#### ▶株式に関する住所変更等のお申出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
2. 特別口座に株式をお持ちの株主様  
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。



株式会社 **イチケン**

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング  
電話(03)5931-5610 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)

